



平成 28 年 12 月 12 日

各 位

会社名 日本カーバイド工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 松尾 時雄
(コード番号 4064 東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 角田 尚久
(TEL 03-5462-8212)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 24 年 11 月 9 日に開示いたしました「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,801	△3.2	280	△78.7	204	△80.9	△6	—
24年3月期第2四半期	24,600	△6.0	1,319	△48.2	1,071	△56.2	482	△67.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △12 百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 557 百万円 (△46.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△0.07	—
24年3月期第2四半期	7.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	58,372	16,780	27.5
24年3月期	56,790	16,970	28.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 16,080 百万円 24年3月期 16,351 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	1.8	1,800	9.7	1,600	10.6	800	87.1	9.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、4 ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、4 ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	81,940,298 株	24年3月期	81,940,298 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	55,036 株	24年3月期	53,866 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	81,886,070 株	24年3月期2Q	68,176,940 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想（平成24年10月26日公表）の見直しは行っておりません。本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復が続いているものの、未だ収束の兆しが見えない欧州諸国の債務問題に加え、中国を中心としたアジア新興国における景気の減速などにより、依然として停滞感が拭えない状況で推移しました。また、わが国においては、東日本大震災後の復興需要などにより緩やかな持ち直しの動きがあるものの、円高の定着に伴う輸出の減少やデフレの影響などにより、景気の先行きは不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、長引く輸出の低迷に加え、デジタル家電向け製品の需要の落ち込みなどもあり、引き続き厳しい状況で推移しました。一方、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の増加などもあり順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は 238 億 1 百万円（前年同期比 3.2%減）、営業利益は 2 億 8 千万円（前年同期比 78.7%減）、経常利益は 2 億 4 百万円（前年同期比 80.9%減）、四半期純損失は 6 百万円（前年同期は 4 億 8 千 2 百万円の利益）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(化成品関連製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品などであります。

このうち、ファインケミカル製品は塗料向けなどが振るわず、前年同期比減収となりました。メラミン樹脂関連製品は海外向けは低調でしたが、国内向けが好調に推移し、前年同期比増収となりました。接着関連製品は光学関連分野向けは回復しましたが、建築・繊維向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、化成品関連製品の売上高は 75 億 5 千 3 百万円と前年同期比 1 億 2 千 2 百万円 (1.6%減) の減収、セグメント利益は 7 億 3 百万円と前年同期比 1 百万円 (0.1%減) の減益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シート、包装用フィルムなどであります。

このうち、マーキングフィルムは国内向けは堅調でしたが、海外向けが低調に推移し、前年同期並となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が伸長し、前年同期比増収となりました。再帰反射シートは欧米向けが低迷し、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは中国での販売が低調に推移し、前年同期比減収となりました。

以上により、フィルム・シート製品の売上高は 70 億 2 千 2 百万円と前年同期比 4 億 5 千 9 百万円 (6.1%減) の減収、セグメント利益は 1 億 3 千 3 百万円と前年同期比 5 千 1 百万円 (27.7%減) の減益となりました。

(電子材料製品)

当該事業の主な取扱製品は、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などであります。

このうち、セラミック基板はデジタル家電向けが振るわず、前年同期比減収となりました。プリント配線板は液晶関連向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、電子材料製品の売上高は35億3千8百万円と前年同期比3億7千8百万円(9.7%減)の減収となり、セグメント損失は、セラミック基板の減産の影響が大きく、3億6千3百万円(前年同期は1億2百万円の利益)となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などではありますが、主力の手摺、笠木等の販売が好調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、建材関連の売上高は44億2百万円と前年同期比1億9千2百万円(4.6%増)の増収となったものの、セグメント利益は、主力製品以外の原価高の影響などもあり、8千6百万円と前年同期比8百万円(8.5%減)の減益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などではありますが、国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、前年同期比減収となりました。

以上により、エンジニアリングの売上高は31億1百万円と前年同期比8千6百万円(2.7%減)の減収、セグメント利益は2千8百万円と前年同期比2億8千万円(90.9%減)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比15億8千1百万円増加し、583億7千2百万円となりました。

このうち、流動資産は、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、前期末比14億8千5百万円増加し、275億1千1百万円となりました。固定資産は、設備投資により機械装置及び運搬具などの有形固定資産が増加し、前期末比9千6百万円増加し、308億6千万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前期末比17億7千1百万円増加し、415億9千1百万円となりました。

このうち、流動負債は、社債の償還や支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、前期末比2億1千5百万円減少し、259億1千2百万円となりました。固定負債は、長期借入金の調達などにより、前期末比19億8千6百万円増加し、156億7千8百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益を計上したものの、その他有価証券評価差額金の変動などにより、前期末比1億8千9百万円減少し、167億8千万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の28.8%から1.3ポイント悪化し、27.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を計上したものの、売上債権の増加など運転収支の悪化により、8千6百万円の収入（前年同期は20億7百万円の収入）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や投資有価証券等の取得などにより、18億4千6百万円の支出（前年同期は13億7千4百万円の支出）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金を調達したことなどにより、16億9千5百万円の収入（前年同期は8億2千9百万円の収入）となりました。この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比4千2百万円減少して43億3千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月26日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,611	5,162
受取手形及び売掛金	11,980	13,141
商品及び製品	4,969	4,895
仕掛品	1,732	1,408
原材料及び貯蔵品	1,631	1,696
その他	1,182	1,288
貸倒引当金	△81	△81
流動資産合計	26,026	27,511
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	5,894	6,508
土地	14,205	14,202
その他（純額）	6,665	6,171
有形固定資産合計	26,764	26,882
無形固定資産	393	383
投資その他の資産		
その他	3,758	3,746
貸倒引当金	△152	△151
投資その他の資産合計	3,605	3,594
固定資産合計	30,764	30,860
資産合計	56,790	58,372

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,574	9,303
短期借入金	12,745	12,973
1年内償還予定の社債	200	—
未払法人税等	278	274
賞与引当金	505	543
その他	2,824	2,818
流動負債合計	26,128	25,912
固定負債		
長期借入金	6,566	8,510
退職給付引当金	2,741	2,851
役員退職慰労引当金	195	170
再評価に係る繰延税金負債	3,885	3,885
その他	302	260
固定負債合計	13,691	15,678
負債合計	39,820	41,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	2,682	2,513
自己株式	△8	△9
株主資本合計	12,112	11,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△246	△495
繰延ヘッジ損益	△25	△23
土地再評価差額金	6,938	6,938
為替換算調整勘定	△2,427	△2,280
その他の包括利益累計額合計	4,239	4,138
少数株主持分	618	700
純資産合計	16,970	16,780
負債純資産合計	56,790	58,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	24,600	23,801
売上原価	18,169	18,372
売上総利益	6,430	5,428
販売費及び一般管理費	5,111	5,148
営業利益	1,319	280
営業外収益		
受取利息	37	20
受取配当金	33	40
その他	151	112
営業外収益合計	222	172
営業外費用		
支払利息	159	128
為替差損	218	58
その他	92	62
営業外費用合計	470	249
経常利益	1,071	204
特別利益		
固定資産売却益	11	—
投資有価証券等売却益	1	—
負ののれん発生益	5	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産除却損	5	—
投資有価証券等評価損	4	41
減損損失	15	1
災害による損失	189	—
特別損失合計	214	43
税金等調整前四半期純利益	874	160
法人税、住民税及び事業税	268	306
法人税等調整額	20	△230
法人税等合計	288	76
少数株主損益調整前四半期純利益	585	84
少数株主利益	103	90
四半期純利益又は四半期純損失(△)	482	△6

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	585	84
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	△247
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	44	148
その他の包括利益合計	△27	△96
四半期包括利益	557	△12
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	464	△106
少数株主に係る四半期包括利益	93	94

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	874	160
減価償却費	1,177	1,173
減損損失	15	1
のれん償却額	△14	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	100	108
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10	△25
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	0
受取利息及び受取配当金	△71	△60
支払利息	159	128
固定資産除却損	5	—
固定資産売却損益 (△は益)	△11	—
投資有価証券等評価損益 (△は益)	4	41
投資有価証券等売却損益 (△は益)	△1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,470	△1,146
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△838	362
仕入債務の増減額 (△は減少)	△345	△272
その他	△131	△61
小計	2,428	448
利息及び配当金の受取額	86	75
利息の支払額	△173	△131
法人税等の支払額	△334	△306
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,007	86
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,671	△1,109
有形固定資産の売却による収入	20	3
投資有価証券等の取得による支出	△74	△422
投資有価証券等の売却による収入	4	17
貸付けによる支出	△9	△2
貸付金の回収による収入	7	258
その他	348	△591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,374	△1,846

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	409	△196
長期借入れによる収入	1,000	3,800
長期借入金の返済による支出	△1,765	△1,430
社債の償還による支出	△200	△200
株式の発行による収入	1,672	—
配当金の支払額	△133	△163
その他	△154	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	829	1,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,458	△42
現金及び現金同等物の期首残高	3,210	4,377
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	81	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,750	4,334

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	7,674	7,481	3,916	4,207	2,433	25,711	<u>△1,111</u>	<u>24,600</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	—	3	755	759	△759	—
計	7,675	7,481	3,916	4,210	3,188	26,470	<u>△1,869</u>	<u>24,600</u>
セグメント利益	704	184	102	94	<u>308</u>	<u>1,393</u>	<u>△322</u>	<u>1,071</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	7,509	7,022	3,538	4,399	<u>1,489</u>	<u>23,958</u>	<u>△157</u>	<u>23,801</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	0	—	3	1,612	1,659	△1,659	—
計	7,553	7,022	3,538	4,402	<u>3,101</u>	<u>25,617</u>	<u>△1,816</u>	<u>23,801</u>
セグメント利益又は 損失(△)	703	133	△363	86	<u>28</u>	<u>587</u>	<u>△382</u>	<u>204</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,862	△3.4	443	△69.2	366	△69.2	145	△76.2
24年3月期第2四半期	24,696	△5.7	1,438	△43.5	1,190	△51.4	609	△58.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 138 百万円 (△79.8%) 24年3月期第2四半期 685 百万円 (△34.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.77	—
24年3月期第2四半期	8.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	58,774	17,299	28.0
24年3月期	57,121	17,337	29.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 16,434 百万円 24年3月期 16,553 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	1.6	1,800	2.1	1,600	2.0	800	61.3	9.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、4 ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、4 ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	81,940,298 株	24年3月期	81,940,298 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	55,036 株	24年3月期	53,866 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	81,886,070 株	24年3月期2Q	68,176,940 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想（平成24年10月26日公表）の見直しは行っておりません。本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復が続いているものの、未だ収束の兆しが見えない欧州諸国の債務問題に加え、中国を中心としたアジア新興国における景気の減速などにより、依然として停滞感が拭えない状況で推移しました。また、わが国においては、東日本大震災後の復興需要などにより緩やかな持ち直しの動きがあるものの、円高の定着に伴う輸出の減少やデフレの影響などにより、景気の先行きは不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、長引く輸出の低迷に加え、デジタル家電向け製品の需要の落ち込みなどもあり、引き続き厳しい状況で推移しました。一方、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の増加などもあり順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は 238億6千2百万円 (前年同期比 3.4%減)、営業利益は 4億4千3百万円 (前年同期比 69.2%減)、経常利益は 3億6千6百万円 (前年同期比 69.2%減)、四半期純利益は 1億4千5百万円 (前年同期比 76.2%減) となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(化成品関連製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品などであります。

このうち、ファインケミカル製品は塗料向けなどが振るわず、前年同期比減収となりました。メラミン樹脂関連製品は海外向けは低調でしたが、国内向けが好調に推移し、前年同期比増収となりました。接着関連製品は光学関連分野向けは回復しましたが、建築・繊維向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、化成品関連製品の売上高は75億5千3百万円と前年同期比1億2千2百万円(1.6%減)の減収、セグメント利益は7億3百万円と前年同期比1百万円(0.1%減)の減益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シート、包装用フィルムなどであります。

このうち、マーキングフィルムは国内向けは堅調でしたが、海外向けが低調に推移し、前年同期並となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が伸長し、前年同期比増収となりました。再帰反射シートは欧米向けが低迷し、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは中国での販売が低調に推移し、前年同期比減収となりました。

以上により、フィルム・シート製品の売上高は70億2千2百万円と前年同期比4億5千9百万円(6.1%減)の減収、セグメント利益は1億3千3百万円と前年同期比5千1百万円(27.7%減)の減益となりました。

(電子材料製品)

当該事業の主な取扱製品は、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などであります。

このうち、セラミック基板はデジタル家電向けが振るわず、前年同期比減収となりました。プリント配線板は液晶関連向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、電子材料製品の売上高は35億3千8百万円と前年同期比3億7千8百万円(9.7%減)の減収となり、セグメント損失は、セラミック基板の減産の影響が大きく、3億6千3百万円(前年同期は1億2百万円の利益)となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などではありますが、主力の手摺、笠木等の販売が好調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、建材関連の売上高は44億2百万円と前年同期比1億9千2百万円(4.6%増)の増収となったものの、セグメント利益は、主力製品以外の原価高の影響などもあり、8千6百万円と前年同期比8百万円(8.5%減)の減益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などではありますが、国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、前年同期比減収となりました。

以上により、エンジニアリングの売上高は31億9百万円と前年同期比7千9百万円(2.5%減)の減収、セグメント利益は1億7千5百万円と前年同期比8千9百万円(33.7%減)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比16億5千2百万円増加し、587億7千4百万円となりました。

このうち、流動資産は、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、前期末比15億5千万円増加し、277億3千8百万円となりました。固定資産は、設備投資により機械装置及び運搬具などの有形固定資産が増加し、前期末比1億2百万円増加し、310億3千6百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前期末比16億9千万円増加し、414億7千4百万円となりました。

このうち、流動負債は、社債の償還や支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、前期末比2億9千5百万円減少し、257億9千6百万円となりました。固定負債は、長期借入金の調達などにより、前期末比19億8千6百万円増加し、156億7千8百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益を計上したものの、その他有価証券評価差額金の変動などにより、前期末比3千8百万円減少し、172億9千9百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の29.0%から1.0ポイント悪化し、28.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を計上したものの、売上債権の増加など運転収支の悪化により、1億7百万円の収入(前年同期は20億2千3百万円の収入)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や投資有価証券等の取得などにより、18億6千7百万円の支出(前年同期は13億9千1百万円の支出)となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金を調達したことなどにより、16億9千5百万円の収入(前年同期は8億2千9百万円の収入)となりました。この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比4千2百万円減少して43億3千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月26日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,611	5,162
受取手形及び売掛金	11,989	13,211
商品及び製品	4,969	4,895
仕掛品	1,802	1,484
原材料及び貯蔵品	1,714	1,777
その他	1,182	1,288
貸倒引当金	△81	△81
流動資産合計	26,187	27,738
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	5,927	6,559
土地	14,205	14,202
その他（純額）	6,678	6,184
有形固定資産合計	26,811	26,946
無形固定資産		
	393	383
投資その他の資産		
その他	3,881	3,858
貸倒引当金	△152	△151
投資その他の資産合計	3,728	3,706
固定資産合計	30,934	31,036
資産合計	57,121	58,774

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,574	9,303
短期借入金	12,745	12,973
1年内償還予定の社債	200	—
未払法人税等	262	257
賞与引当金	505	543
その他	2,804	2,718
流動負債合計	26,092	25,796
固定負債		
長期借入金	6,566	8,510
退職給付引当金	2,741	2,851
役員退職慰労引当金	195	170
再評価に係る繰延税金負債	3,885	3,885
その他	302	260
固定負債合計	13,691	15,678
負債合計	39,783	41,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	2,885	2,866
自己株式	△8	△9
株主資本合計	12,314	12,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△246	△495
繰延ヘッジ損益	△25	△23
土地再評価差額金	6,938	6,938
為替換算調整勘定	△2,427	△2,280
その他の包括利益累計額合計	4,239	4,138
少数株主持分	784	865
純資産合計	17,337	17,299
負債純資産合計	57,121	58,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	24,696	23,862
売上原価	18,151	18,350
売上総利益	6,545	5,512
販売費及び一般管理費	5,106	5,068
営業利益	1,438	443
営業外収益		
受取利息	37	20
受取配当金	33	40
その他	151	112
営業外収益合計	222	172
営業外費用		
支払利息	159	128
為替差損	218	58
その他	92	62
営業外費用合計	470	249
経常利益	1,190	366
特別利益		
固定資産売却益	11	—
投資有価証券等売却益	1	—
負ののれん発生益	5	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産除却損	5	—
投資有価証券等評価損	4	41
減損損失	15	1
災害による損失	189	—
特別損失合計	214	43
税金等調整前四半期純利益	993	323
法人税、住民税及び事業税	258	306
法人税等調整額	22	△218
法人税等合計	280	87
少数株主損益調整前四半期純利益	713	235
少数株主利益	103	90
四半期純利益	609	145

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	713	235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	△247
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	44	148
その他の包括利益合計	△27	△96
四半期包括利益	685	138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	591	44
少数株主に係る四半期包括利益	93	94

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	993	323
減価償却費	1,179	1,176
減損損失	15	1
のれん償却額	△14	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	100	108
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10	△25
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	0
受取利息及び受取配当金	△71	△60
支払利息	159	128
固定資産除却損	5	—
固定資産売却損益 (△は益)	△11	—
投資有価証券等評価損益 (△は益)	4	41
投資有価証券等売却損益 (△は益)	△1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,374	△1,207
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△846	359
仕入債務の増減額 (△は減少)	△345	△272
その他	△131	△141
小計	2,444	468
利息及び配当金の受取額	86	75
利息の支払額	△173	△131
法人税等の支払額	△334	△306
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,023	107
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,688	△1,130
有形固定資産の売却による収入	20	3
投資有価証券等の取得による支出	△74	△422
投資有価証券等の売却による収入	4	17
貸付けによる支出	△9	△2
貸付金の回収による収入	7	258
その他	348	△591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,391	△1,867

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	409	△196
長期借入れによる収入	1,000	3,800
長期借入金の返済による支出	△1,765	△1,430
社債の償還による支出	△200	△200
株式の発行による収入	1,672	—
配当金の支払額	△133	△163
その他	△154	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	829	1,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,458	△42
現金及び現金同等物の期首残高	3,210	4,377
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	81	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,750	4,334

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	7,674	7,481	3,916	4,207	2,433	25,711	<u>△1,015</u>	<u>24,696</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	—	3	755	759	△759	—
計	7,675	7,481	3,916	4,210	3,188	26,470	<u>△1,774</u>	<u>24,696</u>
セグメント利益	704	184	102	94	<u>264</u>	<u>1,349</u>	<u>△159</u>	<u>1,190</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	7,509	7,022	3,538	4,399	<u>1,497</u>	<u>23,966</u>	<u>△104</u>	<u>23,862</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	0	—	3	1,612	1,659	△1,659	—
計	7,553	7,022	3,538	4,402	<u>3,109</u>	<u>25,625</u>	<u>△1,763</u>	<u>23,862</u>
セグメント利益又は 損失(△)	703	133	△363	86	<u>175</u>	<u>734</u>	<u>△368</u>	<u>366</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。